

## 短梢剪定したブドウ「シャインマスカット」樹の栽培特性



ぶどうの剪定方法には長梢と短梢があります。「シャインマスカット」が本県に導入された当初は、長梢剪定樹を用いて栽培特性が検討されたため、剪定は長梢の方法を指導しています。しかし、生産現場では短梢剪定による栽培事例が多いため、両剪定樹について樹齢10年生までの栽培特性を比較検討した結果、短梢剪定樹の生育、生産性と果実品質、作業性が明らかになったので紹介します。

## 1 樹の生育

- 樹齢3年生までは、剪定後の主枝長が長梢剪定樹より短い傾向です（図1）。
- 両側で14mの主枝を養成するには、定植から4年を要します（図1）。
- 幹の太さは、長梢剪定樹より増加比が低いため細く、結果枝長、葉身長、節間径は同等です（表1）。

## 3 作業性

- 剪定、樹体結束、摘芽・摘梢に要する時間は、長梢剪定樹より短いです（表3）。
- 摘粒に要する時間は、長梢剪定樹より長いです（表3）。
- 長梢剪定樹よりジベレリン処理の開始日は2～3日遅れますが、収穫日は概ね同等です（データ省略）。

## 2 生産性と果実品質

- 10a当たり収量（図2）と果房重、1粒重は長梢剪定樹と同等です（表2）。
- 糖度は、長梢剪定樹より有意差がないものの、やや低い傾向です（表2）。
- 果房の形は、長梢剪定樹よりやや劣る傾向です（表2）。

## 4 留意点

- 露地と雨よけ露地栽培による樹齢10年生までの結果です。
- 樹間14m、両側一文字整枝の垣根仕立て、テレキ5BB台木利用樹の結果です。
- 摘粒に時間を要するため、果房管理は省力技術（花穂整形器の利用など）の活用が望ましいです。

表1 樹の生育(2014～2023年 青森りんご研)

剪定方法	幹周増加比	結果枝長 (cm)	葉身長 (cm)	節間径 (mm)
短梢剪定	7.76	188	17.5	12.5
長梢剪定	8.56 **	180 n.s.	17.6 n.s.	11.6 n.s.

注) \*\*, \*は有意差あり、n.s.は有意差なし、表2と図1～2の表記も同じ

表2 果実品質(2019～2023年 青森りんご研)

剪定方法	果房重 (g)	1粒重 (g)	糖度 (%)	果房形 (1-3)
短梢剪定	537	14.1	17.7	2.1
長梢剪定	531 n.s.	14.0 n.s.	18.1 n.s.	1.4 *

注) 果房形（1：円筒、2：中間、3：円錐） 指数3は商品性が低い

表3 作業時間(2019～2020年 青森りんご研)

剪定方法	剪定時間 (hr/10a)	樹体結束時間 (hr/10a)	摘芽・摘梢時間 (hr/10a)	摘粒時間 (hr/10a)
短梢剪定	10.4	2.0	17.1	34.6
長梢剪定	13.4	8.4	23.1	20.3

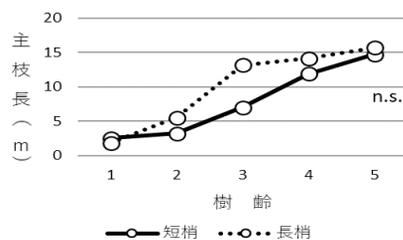


図1 剪定後の主枝長(2014～2018年 青森りんご研)

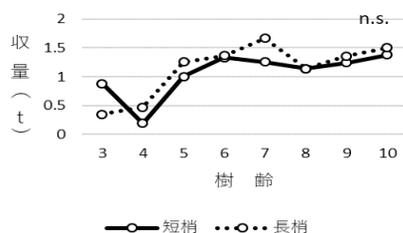


図2 10a当たり収量の推移(2016～2023年 青森りんご研)

お問い合わせ りんご研究所 県南果樹部 (TEL 0178-62-4111)

詳細は令和7年度参考となる研究成果（ぶどう「シャインマスカット」の短梢剪定樹における栽培特性）をご参照ください。

青森産技 あおもりの未来 技術でサポート

